

# 東海大学 大学院 体育学研究科

TOKAI UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF PHYSICAL EDUCATION

体育学専攻 博士課程  
〈前期・後期〉

# 2027

スポーツ文化社会科学領域  
スポーツ医科学領域  
実践スポーツ科学領域



# MESSAGE



体育学研究科長  
松浪 稔

体育学研究科は1976年に創設されました。すでに半世紀以上の月日が経っています。その間、体育・スポーツ科学を取り巻く環境は大きく変わりました。しかし、変わらないのは体育・スポーツ科学が人の営みを基本とした研究領域であるということです。体育学研究科では、総合大学である東海大学の強みを生かし、医学部、工学部、健康学部、スポーツプロモーションセンター、スポーツ医科学研究所等との連携をはかり、大学院での教育を通して高度の知識を身につけ、各人の専門職者としての活躍の舞台を世界に広げる教育を行っています。体育学研究科で学び、研究した仲間の多くが、世界で活躍しています。

AIや認知科学が著しく展開されている現代社会ですが、人間の身体は変わりません。だからこそ、生身の身体を研究対象とした体育・スポーツ科学は、今後ますます注目され、重視されるでしょう。

体育・スポーツには世界を変える力があります。体育学研究科と一緒に世界を変えるチャレンジに踏み出しましょう。



体育学専攻長  
久保田 晃生

体育学研究科体育学専攻では、「スポーツ文化社会科学」「スポーツ医科学」「実践スポーツ科学」の三つの研究領域を基盤として、体育・スポーツ・健康に関わる幅広い知識と高度な専門性を体系的に修得することができます。また、各研究領域には、それぞれ専門性の高い研究指導教員が配置されており、院生一人ひとりの関心や研究課題に応じた丁寧な指導体制が整っている点も、本専攻の大きな特色です。本専攻において、創造性と批判的思考力を備えた研究力を涵養し、体育・スポーツの本質とその真理を深く探究することを期待しています。

## TOPICS >>>



### セントラルフロリダ大学の キネシオロジー・リハビリテーション科学部と 教育・研究に関する覚書を締結

体育学研究科(体育学部)は、セントラルフロリダ大学(UCF)キネシオロジー・リハビリテーション科学部と教育・研究に関する覚書を締結しました。スポーツ医学や生理学・バイオメカニクスなどにおける学術と人材の交流に加え、トップアスリートの育成やスポーツクラブの強化などを含め、幅広い分野で、より強い連携を図ります。

## アドミッション・ポリシー

本学の「建学の精神」と、体育学研究科の教育・研究上の目的及び養成する人材像を理解し、自ら学ぶ意欲を持ち、十分な専門分野の基礎学力を有した者を国内外から広く受け入れます。

### 〔博士課程前期〕

1. 体育学分野の専門的な情報・知識を得るために必要な英語の語学力
2. 体育学分野の専門的な学修をするために必要な学部レベルの十分な基礎学力

### 〔博士課程後期〕

1. 体育・スポーツ科学領域の専門的な学修をするために必要な修士課程レベルの十分な基礎学力
2. 当該分野における極めて高度な知識・技能を有し、独創性・創造性に富んだテーマを持って研究を遂行する意欲
3. 研究により得られた知見や技術、及びその過程で得られた能力を社会へ還元する意欲
4. 体育・スポーツ科学領域の専門分野の情報・知識を得るために必要な英語の語学力



# ADMISSION POLICY CURRICULUM

## カリキュラムの特長

### 課程前期

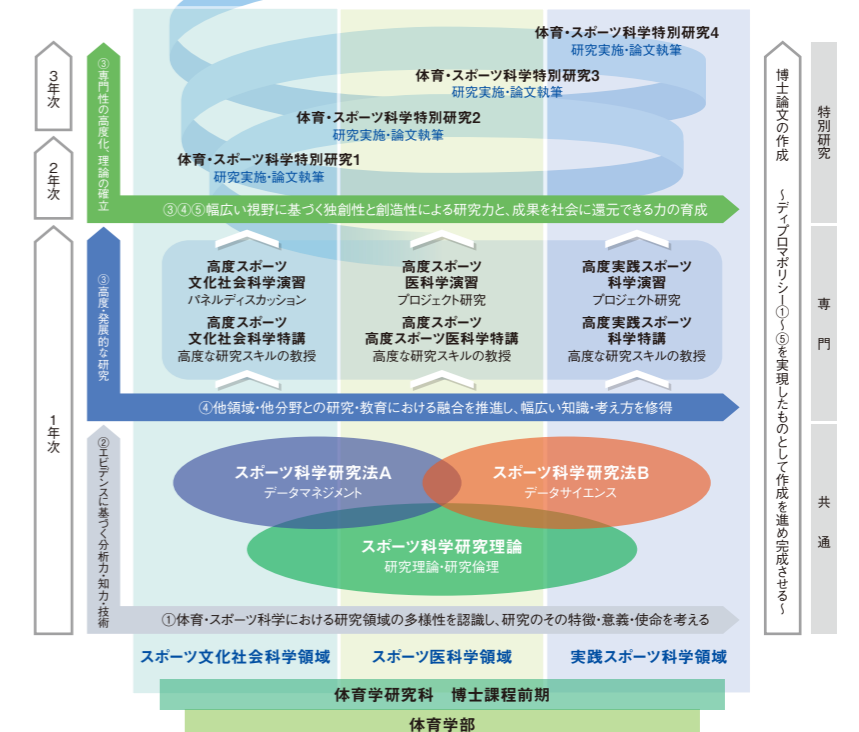
「スポーツ文化社会科学」、「スポーツ医科学」、「実践スポーツ科学」の各領域の概要、人文社会科学系と自然科学系の研究法の基礎を学修する。3つの科目区分において、学部で学んだ「体育・スポーツ科学」をさらに深化させた専門性を養う。

### 課程後期

修士課程(博士課程前期)の研究内容や高度解析技術を発展させて、体育・スポーツ科学の3領域(スポーツ文化社会科学領域、スポーツ医科学領域、実践スポーツ科学領域)の特講・演習科目の学びを通じて、高度な専門知識と技能、研究スキルを修得し、「特別研究」科目において独創性と創造性に富んだ研究力を身に付ける。

### ディプロマポリシー

- ① 体育・スポーツ科学における研究領域の多様性を認識し、研究の特徴・意義・使命を考えることのできる人材
- ② エビデンスに基づく分析力・知力・技術を有し、自ら研究課題を見つけ、取り組むことができる人材
- ③ 高度な専門知識と技能を持ち、独創性と創造性に富んだ研究力を身に付けた人材
- ④ 他領域・他分野との研究・教育における融合を推進し、幅広い知識・考え方を修得している人材
- ⑤ 研究により得られた知見や技術、そして経験を社会に還元していくことができる人材



## 〔課程前期〕学びのスケジュール

分野・領域	授業科目名	必選別	単位数	分野・領域	授業科目名	必選別	単位数
基礎科目	スポーツ科学総論 A(文化社会科学・医科学)	○	2	実践スポーツ科学	実践スポーツ科学特論A(身体教育)	×	2
	スポーツ科学総論 B(実践スポーツ科学)	○	2		実践スポーツ科学特論B(健康教育)	×	2
研究法	体育・スポーツ科学研究法A	○	2		実践スポーツ科学特論C(コーチング)	×	2
	体育・スポーツ科学研究法B	○	2		実践スポーツ科学特論D(心理サポート)	×	2
スポーツ文化社会科学	スポーツ文化社会科学特論A(哲学)	×	2		実践スポーツ科学特論E(武道)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論B(歴史学)	×	2		実践スポーツ科学特論F(アダプテッド)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論C(社会学)	×	2		実践スポーツ科学特論G(ウエルネス)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論D(心理学)	×	2		実践スポーツ科学特論H(マネジメント)	×	2
	スポーツ文化社会科学特論E(政策)	×	2		実践スポーツ科学特論I(レジャー)	×	2
	スポーツ文化社会科学演習A	×	2		実践スポーツ科学演習A	×	2
	スポーツ文化社会科学演習B	×	2	実践スポーツ科学演習B	×	2	
	スポーツ医科学特論A(生理学)	×	2	実践スポーツ科学演習C	×	2	
スポーツ医科学	スポーツ医科学特論B(バイオメカニクス)	×	2	実践スポーツ科学演習D	×	2	
	スポーツ医科学特論C(医学)	×	2	体育学研究1	○	2	
	スポーツ医科学特論D(体力学)	×	2	体育学研究2	○	2	
	スポーツ医科学演習A	×	2	体育学研究3	○	2	
	スポーツ医科学演習B	×	2	体育学研究4	○	2	

修了には下記の要件をすべて満たすこと。  
 ①「体育学研究総論」「体育学研究法A」「体育学研究法B」および研究指導を受ける教員が担当する「体育学研究1・2・3・4」を修得すること。  
 ②合計30単位以上を修得すること。  
 ③修士論文の審査、並びに最終試験に合格すること。

## 〔課程後期〕学びのスケジュール

分野・領域	授業科目名	必選別	単位数
共通	スポーツ科学研究理論	○	2
	スポーツ科学研究法A	×	2
	スポーツ科学研究法B	×	2
専門	高度スポーツ文化社会科学特講	×	2
	高度スポーツ医科学特講	×	2
	高度実践スポーツ科学特講	×	2
	高度スポーツ文化社会科学演習	×	2
	高度スポーツ医科学演習	×	2
	高度実践スポーツ科学演習	×	2
特別研究	体育・スポーツ科学特別研究1	○	2
	体育・スポーツ科学特別研究2	○	2
	体育・スポーツ科学特別研究3	○	2
	体育・スポーツ科学特別研究4	○	2

修了には下記の要件をすべて満たすこと。  
 ①共通から「スポーツ科学研究理論」を含め4単位以上の修得および研究指導を受ける教員が担当する「体育・スポーツ科学特別研究1・2・3・4」を修得すること。  
 ②博士課程(前期)の単位(30単位)と併せて合計46単位以上を修得すること。  
 ③博士論文の審査、並びに最終試験に合格すること。

### 近年の修士論文

- 「スポーツ倫理学の形而上学序説」
- 「高強度ランニング中のランニングエコノミーと下肢動作および筋活動量との関係」
- 「運動前の水素酸素ガス吸入が運動による酸化還元反応に及ぼす影響」
- 「高強度走行中のRunning Economyに優れた大学長距離選手の下肢キネマティクス」
- 「インセンティブプログラム参加者における歩数とWalk Scoreの関連」
- 「熟練度の違いによるサッカーボールリフティングの運動制御について」
- 「捕手の捕球技術に関するバイオメカニクスの研究」

## 授業科目の紹介

### スポーツ文化社会科学領域

スポーツ文化社会科学特論 D(心理学)



人文社会科学学的アプローチによる研究の基礎的な理論と応用について学びます。

### スポーツ医科学領域

スポーツ医科学特論 C(医学)



自然科学的アプローチによる研究の基礎的な理論と応用について学びます。

### 実践スポーツ科学領域

実践スポーツ科学特論 C(コーチング)



スポーツや運動、身体活動が現代社会に貢献する研究の基礎的な理論と応用について学びます。

## 授業科目の紹介

### スポーツ文化社会科学領域

高度スポーツ文化社会科学演習



人文社会科学学的アプローチによって問題解決する研究プロセスを演習として学びます。

### スポーツ医科学領域

高度スポーツ医科学演習



自然科学的アプローチの手法によるスポーツ科学実験研究のプロセスを演習として学びます。

### 実践スポーツ科学領域

高度実践スポーツ科学演習



スポーツが現代社会において貢献する研究プロセスを演習として学びます。

# 大学院担当教員一覧

M…博士課程前期 D…博士課程後期

## 研究指導教員 専門分野(研究テーマ)

### スポーツ文化社会科学

**阿部 悟郎** 教授 M D  
ABE GORO  
体育哲学

**松浪 稔** 教授 M D  
MATSUMAMI MINORU  
スポーツ史、スポーツ人類学

**松本 秀夫** 教授 M D  
MATSUMOTO HIDEO  
スポーツ心理学

**秋吉 遼子** 准教授 M D  
AKIYOSHI RYOKO  
スポーツ社会学

**谷本 龍男** 准教授 M  
YAGI TATSUO  
スポーツ心理学

### スポーツ医科学

**八田 有洋** 教授 M D  
HATTA ARIHIRO  
運動生理学

**山田 洋** 教授 M D  
YAMADA HIROSHI  
スポーツバイオメカニクス

**宮崎 誠司** 教授 M D  
MIYAZAKI SEIJI  
スポーツ医学

**内山 秀一** 教授 M D  
UCHIYAMA SYUICHI  
体力学

**丹治 史弥** 講師 M D  
TANJI FUMIYA  
運動生理学

**小山 孟志** 准教授 M D  
KOYAMA TAKESHI  
トレーニング科学

**笹木 正悟** 准教授 M D  
SASAKI SYOGO  
アスレティックトレーニング

### 実践スポーツ科学

**上水 研一朗** 教授 M  
AGEMIZU KENICHIRO  
武道学

**栗山 雅倫** 教授 M  
KURIYAMA MASAMICHI  
コーチング学

**久保田 晃生** 教授 M D  
KUBOTA AKIO  
生涯スポーツ論

**押見 大地** 教授 M D  
OSHIMI DAICHI  
スポーツマネジメント

**野坂 俊弥** 教授 M D  
NOSAKA TOSHIYA  
健康科学

**松下 宗洋** 講師 M D  
MATSUSHITA MUNEHIRO  
運動疫学

**高野 進** 教授 M  
TAKANO SUSUMU  
コーチング学

**大塚 隆** 教授 M  
OTSUKA TAKASHI  
スポーツ運動学

**武田 大輔** 教授 M D  
TAKEDA DAISUKE  
応用・臨床スポーツ心理学

**山田 クリス 孝介** 准教授 M  
KOSUKE CHRIS YAMADA  
健康科学

**森 良一** 教授 M D  
MORI RYOICHI  
保健・健康教育学

**内田 匡輔** 教授 M  
UCHIDA KYOSUKE  
アダプテッド・スポーツ科学

**小河原 慶太** 教授 M  
OGAWARA KEITA  
スポーツバイオメカニクス

**大越 正大** 教授 M  
OKOSHI MASAAHIRO  
体育科教育学

**岡田 成弘** 准教授 M  
OKADA MASAAHIRO  
野外教育

## 研究指導補助教員 専門分野(研究テーマ)

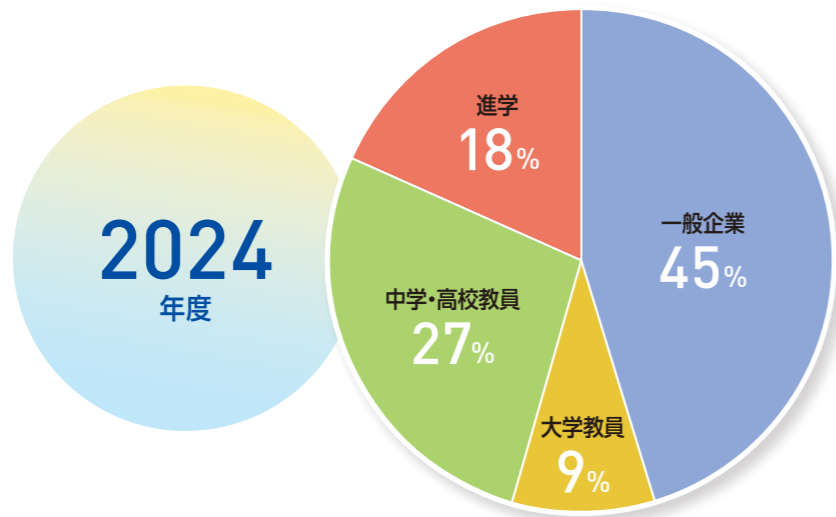
**恩田 哲也** 教授 M  
ONDA TETSUYA  
スポーツ&レジャーマネジメント論

**木村 季由** 教授 M  
KIMURA HIDEYUKI  
コーチング学

**川邊 保孝** 准教授 M  
KAWABE YASUTAKA  
体育・スポーツ経営学

## これまでの主な就職先・進学先

- テクバン株式会社
- ヨネックス株式会社
- 公益財団法人しずおか健康長寿財団
- 太平電業株式会社
- 日本エースサポート株式会社
- 学校法人日本大学第一学園
- 神奈川県立山北高等学校
- 神奈川県立秦野高等学校
- 秦野市立西中学校
- 中野区立中野中学校
- 東海大学大学院体育学研究科 博士課程後期



# INTERVIEW

## 先輩からのメッセージ



2023年度修了

### 水島 徳彦さん

小田原短期大学  
専任講師

私は、修士課程(現:博士課程前期)から博士課程後期まで、スポーツ競技者にとって「道徳」とはどのようなものかという問いについて、体育哲学という学問的立場から、具体的にカント哲学を手がかりとして、研究を進めてきました。本学の体育学研究科は、自分の学問領域にしっかり没入して研究を進められる環境であるとともに、様々な学問的背景をもつ専門家である先生方や学生とともに研鑽できる、魅力ある場所であると感じています。



2017年度修了

### 一関 侃さん

NEC レッドロケッツ

学部時代は文学部でありながら、学生トレーナーをしていた私は、「専門知識を深めたい」という思いから体育学研究科へ進学しました。在学中は自身の専門領域を深めると共に、他の領域も学び、それら専門とする仲間と意見を交わすことで、多角的な視点を持つことができ、自身の考えをより深めることができました。



2019年度修了

### 宇野 真里子さん

一般財団法人 明治安田健康開発財団  
健康増進支援センター

現在、子どもから高齢者まで、地域・職域の健康増進に向けてセミナーによる情報提供やツールの開発などを行っています。在学中に学んだ知識と現場経験が、今の仕事の土台に繋がっているのを実感しています。大学院では、学部生の頃以上に様々な研究分野に触れることができ、知見を広める貴重な機会となりました。

## 奨学金・入学金・学費

### 大学院研究支援奨学金

#### 研究奨励型

東海大学大学院に在籍している学生で、学術・人物ともに優秀な学生に対して給付します。第2セメスターから第4セメスターに学期毎募集します。

種別	給付
金額	第1種……学期20万円 第2種……学期10万円

#### 進学支援型

「東海大学大学院推薦入学試験」を受験したもので、研究の意欲を持ち、人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な学生に対して奨学金を給付します。  
※奨学金出願には経済困窮に関わる条件があります。

種別	給付
金額	授業料・入学金相当額

### 体育学研究科 初年度の学費(2026年度)

入学金	授業料	年間合計
200,000円	711,000円	911,000円

※ただし、東海大学・九州東海大学・北海道東海大学の出身者(学部卒業生・大学院修了生)の入学金は免除

### 日本学生支援機構大学院奨学金

無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、併用することも可能です。(収入基準額を越えないこと。)ただし、第一種奨学金と授業料後払い制度の併用はできません。

第一種奨学金	
種別	貸与(無利子)
金額	修士・博士課程前期……月額5万円、8.8万円から選択 博士・博士課程後期……月額8万円、12.2万円から選択
期間	標準修業年限まで

第二種奨学金	
種別	貸与(有利子)
金額	大学院全課程全学年……月額5、8、10、13、15万円から選択
期間	本人が希望する月から標準修業年限まで

### 授業料後払い制度【修士・博士課程前期のみ】

種別	貸与(無利子)
金額	授業料支援金……1年間の授業料相当額 ※機構から大学へ振り込み 生活費奨学金……月額0円(利用しない)、2万円、4万円から選択
期間	標準修業年限まで

### 入学時特別増額貸与奨学金

種別	貸与(有利子)
金額	第1セメスター入学者で条件を満たす者に対して希望により定額(10、20、30、40、50万円から選択)を増額して貸与